

# 平成27年第1回定例会 施政方針に対する代表質問通告一覧表

会派名(氏名)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 公明党 (中間 建二)	1	市長の4年間の総括と現状認識について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 尾崎市長の4年間の総括し、どのような実績を上げてこられたと認識をされているか。特に、防災対策の強化、観光事業の推進、健康増進、子育て支援、教育環境の整備については、具体的な数値を持って成果と実績を明らかにしてもらいたい。</li> <li>② この4年間で財政健全化がどのように図られてきたのか。</li> <li>③ 市民協働と情報公開の推進の状況は</li> <li>④ 2020年東京オリンピックへの関わりは</li> </ul>
	2	施政方針に示された重要施策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育園の待機児童対策の内容と解消の見通し、保育士確保対策の具体的な内容は</li> <li>② 多様な保育サービスの課題であるトワイライトステイの実施の考え方は</li> <li>③ 学童保育所の受け入れとランドセル来館の状況、受け入れ時間の延長の対応は図れないのか。</li> <li>④ 放課後子ども教室と学童保育の一体的な運用を行うべきではないか。</li> <li>⑤ 小中一貫教育におけるグループごとの名称や教育目標の設定の考えは</li> <li>⑥ 学習支援員、スクールソーシャルワーカー、ティームティーチャーの役割と配置人数の見通しは</li> <li>⑦ 中学校の補習教室における体制整備と実施日数の見通しは</li> <li>⑧ 発達支援システムの構築を目指して、特別支援教育と子育て支援、就労支援の連携の取り組みをどのように進めていくのか。</li> <li>⑨ 新・学校給食センター建設について、市内事業者の活用等の地域経済への配慮の考え方は</li> <li>⑩ 桜が丘市民広場への夜間照明の設置を進められないか。</li> <li>⑪ 家庭ごみ収集有料化後のごみの減量効果と有料化以外の減量施策の取り組みについての考えは</li> <li>⑫ 健康増進計画に基づく健康寿命の延伸を図るための具体的な取り組みの内容は</li> <li>⑬ 健康ポイント制度の実施と体育館等での保健師による健康指導の実施の考えは</li> <li>⑭ 特色ある公園整備について、多様なニーズをどのように整理し対応していくのか。</li> </ul>
	3	平成27年度に取り組む個別の施策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 立川市との図書館相互利用の内容と実施時期、市立中央図書館のリノベーションの方針の考えは</li> <li>② 文化協会を中心とした具体的な活動支援と文化芸術振興条例制定の考えは</li> <li>③ 胃がんリスク検査の受診要件緩和の内容は</li> </ul>

			<p>④ 高齢者見守りぼっくすに、相談機能やサロン機能を持たせるべきではないか。</p> <p>⑤ 元気ゆうゆう体操の普及促進のための活動支援の充実方法は</p> <p>⑥ 地域包括ケアシステムの構築のために、高齢者ほっと支援センターと医師会、保健センター等の連携をどのように図っていくのか、地域ケア会議の充実の方向性は</p> <p>⑦ 生活困窮者自立支援事業の充実強化の内容は</p> <p>⑧ 都市計画道路3・5・20号線の整備完了の見通しは</p> <p>⑨ 桜街道の整備とユニオンガーデン西側のT字路交差点の安全対策を図るべきではないか。</p> <p>⑩ 防犯・防災体制の推進における自治会活動の支援と消防団活動との連携のあり方は</p> <p>⑪ 消防団本部の活動拠点の整備の考え方は</p> <p>⑫ 街路灯のLED化について、省エネや経費節減にどの程度の効果を見込んでいるのか。</p> <p>⑬ マイナンバー制度を活用した市役所窓口のワンストップサービスの実施等の市民サービス充実の方針は</p> <p>⑭ 行政改革を進める上で、指定管理者制度の導入や民間活力の導入にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>⑮ 近隣市との効率的な広域連携を進めていく上で、3市共同資源事業等、民間でできることをあえて公設で行う必要はない。 真に必要な事業に財源を充てていく方針を明確にすべきではないか。</p>
2. 自由民主党・+1 (根岸 聡彦)	1	安定した市民生活の実現について	個人消費に弱さがみられていることから、安定した市民生活の実現に向けた対策が必要であるとされておりますが、行政が考える「安定した市民生活」とはどのようなことを言うのか、また、その実現に向けて、具体的に何をすることが必要であると考えているのかお聞かせください。
	2	国の予算案に対する期待について	国の新年度の予算案に、地方行政や市民生活への好影響を期待しているとの発言がありましたが、現在東大和市が国に対して期待している具体的な施策とはどのようなものでしょうか。
	3	財政運営について	財政の健全性が高まってきていると述べられた一方で、今後予定している本庁舎等の耐震補強工事や新学校給食センターの建設などは、建設費用の高騰のため、より多額の経費が見込まれているとされております。このような大きな事業について、当初目論んでいた金額とどの程度の乖離が生じているのか、また、その差額をどのように解消していこうとしているのか、そのあたりの考えをお聞かせください。
	4	学童保育の充実について	放課後子ども教室との連携を図るとありますが、育成料のかかる学童保育所に対して、放課後子ども教室は無料です。このように文化の違う2つの事業

		をどのように連携させるのか、具体的にお聞かせください。
5	教育内容等の充実について	平成28年4月の開設に向けて、第三中学校に通級指導学級の整備を行うとのことですが、通級指導学級に対する現時点での必要性に対する認識、また、将来の展望についてお聞かせください。
6	教育環境の整備について	情報セキュリティ対策の強化とは、具体的に何をどのように行おうとしているのでしょうか。
7	健康づくり施策の充実について	健康づくり施策に関して。安心して子育てができるまちと祝日等歯科応急診療事業との関連性について説明してください。また、平日準夜帯における小児初期救急診療の段階的实施とは、何がどのように段階的なのかご説明ください。
8	(仮称) 東大和郷土美術園の整備について	(仮称) 東大和郷土美術園の整備に向け、吉岡堅二画伯の作品等を整理・収集と言われましたが、作品収集の方法、スケジュール、目標についてお聞かせください。
9	文化財の保存について	旧日立航空機株式会社変電所の保存のあり方についての検討とは、どのようなことを検討しようとしているのか、また検討の先に見据えているものは何なのか、スケジュール感と期待する到達点も合わせてお聞かせください。
10	健康づくりに関する施策について	健康づくりカレンダーに関して、今までやってきた周知や活用の方法と、今後行う予定のそれと、どのような点で異なり、どのように効果を挙げられるのか、お聞かせください。
11	高齢者福祉の推進について	高齢者見守りぼっくすについて、新たに3か所目として「なんがい」の開設を予定しているとのことですが、既に開設している2か所に対してどのように評価しているのかお聞かせください。
12	児童福祉の推進について	「赤ちゃん・ふらっと」の整備について、現在の状況と今後の目標についてお聞かせください。
13	(仮称) 総合福祉センターについて	(仮称) 総合福祉センターについて、引き続き、事業実施者と調整を図り・・・とのことでしたが、現時点で、どのような点で調整が取れておらず、何が解決しなければならない問題として残っているのか、また、平成28年度の開設に向けて準備を進めるとのことですが、民設民営で行う施設に関し、行政が、何を、いつまでに、どのような形で準備をするのかお聞かせください。
14	都市農業の振興について	農産物の品質及び生産量を向上させるための事業に対し、引き続き支援を行っていくとのことですが、品質・生産量のそれぞれに対し、過去に行ってきた支援はどのようなものであり、どのような効果があったのか、また今後も継続していくことに対し

			て、将来の展望をどのように描いているのかお聞かせください。
1 5	工業の振興について		工業の振興に関し、現在市内に残されている工業地域、或いは準工業地域の活用方法について、市が描いているビジョンをお聞かせください。また、そういった地域に高層住宅が建設されている現実をどう評価しているのか、限定的なエリア内での工業の振興をどのように図っていくとしていくのか、企業誘致の観点からも市の考えをお聞かせください。
1 6	商業の振興について		商店街等が設置する装飾灯に対する改修補助等を実施することですが、過去に設置したまま商店街そのものがなくなってしまったケースがあるようですが、そういったところに対する撤去や管理についてはどのように考えておりますでしょうか。
1 7	観光事業の推進について		① 観光キャラクター「うまべえ」とのことですが、制作当初、「うまべえ」はグルメキャラクターであり、ゆるキャラではないとされていたものと記憶しておりますが、「ゆるキャラグランプリ 2015」に参加登録するという事は、今後「うまべえ」をどのように活用していくとしているのでしょうか。観光キャラクターに設置した背景、理由、目的、今後の展望等について、市の考えをお聞かせください。 ② 観光マップの活用とは、具体的にどのようなことを考えているのか、また、どのようにして、地域の活性化につなげていくとしているのか、具体的なビジョンについてお聞かせください。
1 8	防災・防犯体制の充実について		先般、市内で発生した3件の火災で、3名の死者が出ており、その方々は、高齢者や障害のある方であると伺っております。火災については、初期消火が非常に重要であります。家庭に設置されている消火器の多くは、高齢者や障害者には使いづらいものであると思います。つきましては、持ち歩きのできる、スプレー式の消火器の支給をご検討いただきたいと考えますがいかがでしょうか。
1 9	道路・交通の整備について		歩道のバリアフリー化に関し、バリアフリー化の改修が必要とされる道路、またはエリアについて、どのように認識されておりますでしょうか。また、歩道の傷みにより、車いすでの通行もそうですが、高齢者のシルバーカーを押しての通行にも支障が出るような箇所が多々あるという話を伺います。そういった歩道の凸凹への対応については、いかがでしょうか。
2 0	緑の保全・創出について		緑の保全・創出に関し、狭山緑地の用地買収は今後どのようなスケジュール感で進められていくのでしょうか。また、湖畔にあります都立東大和公園の管理は、現在都で定めた指定管理者によって管理

	2 1	市民協働について	<p>されていると理解いたしますが、適正な管理、雑木林形成のための適切な処置等について、都への働きかけや情報収集、市民への情報発信等について、どのように進めていこうと考えているのでしょうか。</p> <p>共に支えあう地域社会の確立の項目の中に「東大和市職員の協働の推進に関する指針」に基づきとあるが、指針の中の「協働の主体」の中には、公益法人や外郭団体、なかには、老人クラブや市民が委員を務める各種委員会などの名称が書かれています。この部分だけ見ても何を持っての協働なのか。市が行う事業に「協働」と言う名称を使って人員確保をしているだけとしか受け取れません。</p> <p>市が方向性を出して、それに市民を使うのではなく、市民が地域で必要としていることに市がバックアップすることも必要と思いますが、市が考える協働についての詳細を伺います。</p> <p>また、「協働の形態」についても円グラフを使って、2 1 1 事業についてが書かれています。全てが協働と言えるものかもわからない状況です。各事業の詳細と協働と言える事業なのか内容を伺います。</p>
3. 自民クラブ (関田 貢)	1	財政について	<p>予算見積額の集計状況を市のホームページに掲載した時、財源不足が5億9 1 3 万6 千円と発表された。内容について、尾崎市長が現予算まで削減された主な事業内容についてお伺いします。</p>
	2	耐震事業について	<p>① 本庁舎及び現業棟耐震補強等工事について、平成2 7 年度より工事着手となりますが完成の時期についてお伺いします。</p> <p>② この期間内の事業の影響・対策についてお伺いします。</p>
	3	福祉事業について	<p>① (仮称) 総合福祉センターの事業計画はどのようになっているのか。</p> <p>② 待機児童の解消については、当市は大丈夫なのか。</p> <p>③ 当市内にある保育園事業について、耐震化についてはどのようになっているのか。</p>
	4	教育事業について	<p>① 老朽化した給食センター2 か所の跡地利用計画について</p> <p>② 協力指導員の配置効果について</p> <p>③ スクールソーシャルワーカーの配置について、どのような期待ができるのか。</p>
	5	土木事業について	<p>① 都市計画道路3・5・2 0 号線の道路築造後の計画は、どのようになるのか。</p> <p>② 狭山緑地用地買収事業についての事業計画について、どのようになっているのか。</p>
4. 日本共産党 (尾崎 利一)	1	景気動向と市民の暮らしについて	<p>① 景気動向について、市は政府の見解をそのまま引用していますが、IMF (国際通貨基金) は1 月2 0 日に改定した「世界経済見通し」のなかで「日本経済は、2 0 1 4 年第3 四半期に事実上の</p>

	<p>2 「安定した市民生活の実現に向けた対策」について</p>	<p>景気後退局面に入った」と評価し、世界の経済成長率下方修正の一因としました。8%への消費税増税や力ずくの物価引き上げと円安などによって、実質賃金は18カ月連続で減少し、日本経済の6割を占める個人消費が大打撃を受けているからにはほかなりません。この点について、また、市民の暮らし向きが良くなっているのか悪くなっているのか、市長の見解を伺います。</p> <p>② 国の来年度予算案について、「経済の好循環」の更なる拡大に期待すると表明しましたが、「経済の好循環」は一部大企業にだけ当てはまるにすぎず、多くの市民の生活実感からはかけ離れた虚構です。来年度予算では、医療・介護の大改悪、マクロスライドの全面適用による年金引き下げ、長時間労働を野放しにし、不安定雇用と低賃金を押し付ける労働法制の改悪など、市民の暮らしを壊す施策が目白押しです。国の悪政を免罪するのではなく、きっぱりと反対し、市民の暮らしを守る施策に全力を注ぐべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>③ すでに、中小零細企業は、消費税と円安・物価高による「アベノミクス不況」に突入しているといわれています。市内の事業所の実態調査を実施するとともに、制度融資の保証料の全額補助など具体的支援策を講じるべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>① 市長は「安定した市民生活の実現に向けた対策」の必要性を「痛感」としてしていると表明しました。大変重要な認識だと受け止めます。この点で、来年度予算に新たに盛り込む施策についてお聞かせください。</p> <p>② 暮らしの基本は働くことです。安定雇用抜きに安定した暮らしは不可能です。人間らしい労働、ディーセントワークは社会全体の努力なしに実現できません。一方で大量の非正規雇用、他方の極に人間を使い捨てるブラック企業の存在、またそれを合法化しようとする労働法制の改悪までたくらまれています。</p> <p>ア 市として、雇用・労働相談窓口による救済や情報の蓄積、調査やブラック企業名の公表など、できることから対策をとる必要があると考えますが、いかがですか。</p> <p>イ 少なくとも、市の発注先、委託先、指定管理者等については、厳格な対応が必要と考えますが、いかがですか。</p> <p>ウ 市の仕事を担う労働者について、正規雇用や市の直接雇用への意向調査を実施して対応を検討するとともに、最低賃金に張り付いた賃金体系の抜本的引き上げが必要ですが、いかがですか。</p> <p>エ 関連して、市内業者への優先発注を拡充すべきですが、見解を伺います。</p> <p>③ 先進諸国では、とりわけ日本では顕著に、好不</p>
--	----------------------------------	--

			<p>況にかかわらず、一貫して貧困率が増大しています。景気がいくら良くなっても、独自の対策抜きには、貧困層が置いてけぼりにされ、逆に増大しているということです。とりわけ、命と健康を貧困から守るのは最低限の政治の責任です。安倍政権が医療、福祉をドンドン切り捨てる下で、市が防波堤となって、18歳以下の子どもの医療費無料化、75歳以上の医療費半額助成に踏み出すよう求めますが、いかがですか。</p> <p>④ 格差と貧困が拡大するもとの、市税等の滞納者は、特段の根拠がなければ、払いたくても払いきれない暮らしが困難な市民とみなされ、滞納整理の対象ではなく、暮らしの再建を市として援助すべき対象として対応すべきものです。国保法は「社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする」とし、介護保険法は「保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする」とされています。いかなる理由があろうとも、憲法25条で定められた国民の生存権を犯すことは許されません。滞納を理由として国保証が手元に交付されなかったり、事実上介護給付からはじき出すようなことはあってはなりません。市の見解を伺います。</p> <p>⑤ 国保の広域化は、加入者にいっそう高い保険税を課すこととなり、市は反対すべきです。市は、平成25年度から27年度までの国保会計への赤字繰出額を平均7億百万円に抑制するとして2億5千万円の値上げを強行しました。所得の低い国保加入世帯に制度の矛盾を押し付けるものであり元に戻すべきです。来年度から保険者支援として約1,700億円が各保険者に振り分けられますが、これは恒久的措置であり、しかも上述した市の国保財政計画には予定されていないものです。少なくとも、この分を活用して国保税の引き下げを来年度から実施すべきですが、いかがですか。</p> <p>⑥ 特養ホームの待機者244名、認可保育園の待機児童223名と、制度があるのに空きがないから入れないのは政治の怠慢です。向原と東京街道の2つの都営住宅の空地の活用について見直しの方向が明らかになり、とりわけ東京街道団地については、平成29年度以降に、都営住宅の増設とともに、福祉施設等の公共公益ゾーンを設けていくという都の意向が明らかになりました。ところが、東大和市の側に対応する計画がありません。特養ホームや老健施設、認可保育園や障害者施設、さらにスポーツ施設等も含め、住民要求に基づいて市側の要求と計画を急ぎ策定すべきと考えますが、いかがですか。</p> <p>⑦ 介護保険の改悪と報酬削減は、事業者にも市民にも大きな打撃となります。子ども子育て支援新制度も、保育に対する国と自治体の責任を大きく後退させるものです。日本共産党はこれらの改悪に反対です。市として、事業者や利用者等からの聞き取り調査等を行い、国や東京都</p>
--	--	--	--

	3	「持続可能な市政の実現」について	<p>に対する要望を整理し、市としても必要な対策を検討すべきです。いかがですか。</p> <p>① 「持続可能な市政の実現」は、憲法の地方自治の原則に基づいて、国に第一義的責任があると考えますが、いかがですか。それとも、東大和市の市財政運営には、国の責任を問えないほどの浪費や欠陥が存在するのですか。見解を伺います。</p> <p>② 国が当てにならないからといって、東大和市は、この間、国保税値上げや家庭ごみ有料化などの負担増を次々と市民に課し、3年間で基金を21億円増やしてきました。市長はさらに積立をすすめると表明しています。国に求めるべき負担と責任を免罪し、いわれなく市民に押し付けるものではありませんか。見解を伺います。</p> <p>③ 国の経済財政諮問会議においては、昨年12月22日の会議で、平成20年度と比べて財政調整基金や特定目的基金の急増が問題視され、「不要不急のものは国庫返納すべき」などの意見が出されています。すでに同様の議論のもとで特養ホームの介護給付が大幅に減額されました。国の責任を明確にしない限り、際限のない地方切り捨てに道を拓くことになるではありませんか。見解を伺います。</p>
	4	戦後70年を迎えるにあたって	<p>① 二度にわたる世界大戦の悲惨を経て、国際政治において戦争は違法な行為とされ、日本においては侵略戦争への反省から憲法9条が定められました。</p> <p>ア 戦後70年を迎えるにあたり、平和宣言都市の市長として憲法9条を守り、市民の平和的生存権を守る立場を改めて表明してください。いかがですか。</p> <p>イ 平和都市宣言を市庁舎をはじめとした公共施設に掲示するよう求めます。いかがですか。</p> <p>② 戦争する国づくりに向かういかなる兆候とも厳しく対決することこそ、平和な日本と世界を建設する務めだと考えます。集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求め、これを具体化する一切の法改定に反対すべきです。市長の見解を伺います。</p>
	5	行政手法について	<p>辺野古への新基地建設には、名護市長選、沖縄県知事選、総選挙と、反対の県民世論が再三にわたり示されたにもかかわらず、安倍首相は「唯一の解決策」といって強行しようとしています。桜が丘への廃プラ施設建設について、当初、市長は周辺住民の理解を得ることが前提としていたにもかかわらず、周辺住民の理解を得ないまま建設計画を強行しようとするばかりか、それを自らの成果としています。「開かれた市政」と逆行する手法です。計画の実行を中断し、建設の是非にさかのぼって周辺住民</p>



			と協議する場を持つべきですが、市長の見解を伺います。
5. 民主党 (大后 治雄)	1	市政運営の基本姿勢について	今期4年間で完遂した施策は何か。また、全く着手出来なかった施策は何か。
	2	重要施策について	① 子育て支援施策の充実について、学童保育所は育成料や間食費の保護者負担があり、放課後子ども教室は参加料無料で保護者負担は無い。また、実施日程や対象学年も各学校で異なる。そこで、学童保育所入所希望者に対してどのような対応を行ったのか伺うとともに、希望者全員が4月から滞りなく通うことが出来るのか伺う。 ② 教育内容等の充実について、学力向上に関し、小・中学校を対象とした学力向上協力校の指定やティームティーチャーの配置の詳細を伺うとともに、学校施設整備の進捗状況を伺う。 ③ (仮称)総合福祉センターの整備について、現状更地であるが、平成28年4月開設は可能なのか、事業の進捗状況を伺うとともに、開設に向けての課題を伺う。 ④ 廃棄物の減量について、家庭廃棄物の有料化及び戸別収集導入によって得られた効果に関し、次年度予算等にどれだけ反映されたのか、数字でお示し願いたい。また、減量の効果に関し、市民のモチベーションを維持するためにも、わかりやすく市民に伝える必要があると考えるが如何か。ご所見を伺う。 ⑤ 公園の整備について、設置から30年以上経過している公園の現状を伺うとともに、具体的な整備方法を伺う。また、「親しみがわく特色のある公園」の具体的なイメージを伺う。
	3	主な施策について	① 公民館事業について、市長会の助成金を活用し取り組む「(仮称)ここがふるさと・東大和の魅力発見・発信し隊事業」の詳細を伺う。 ② 郷土博物館事業について、昨年3月にメガスターⅡBを導入後の観覧者の状況及び導入の効果について伺う。 ③ 文化財の保存について、戦後70年の節目を迎え、平和の尊さを後世に伝える貴重な戦災遺跡である旧日立航空機株式会社変電所の保存のあり方に関し、どのように検討されるのか伺う。 ④ 観光事業の推進について、過去3回「うまかんべえ〜祭」を開催された中で、ご当地グルメの創出と地域ブランドの確立はどの程度達成されたのか伺うとともに、第4回目の詳細を伺う。 ⑤ 建築物の耐震改修の促進について、昭和56年5月以前に建築された木造戸建て住宅及び特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の進捗状況と課題を伺う。
6. やまとみどり (床鍋 義博)	1	施政方針全体について	市長が自ら財政の健全化を謳っており、新たな「ハコモノ」の建設には慎重に対応すべきだと考えます。しかし現在民間委託している事業を、敢えて公設で行おうとする「3市共同資源物処理施設」建

			設に関しては、真逆の対応を取っております。建築費が高騰する中、今後市庁舎耐震工事や給食センター新築工事を始めとする既存施設の改築や新築のため、不要不急な計画は、凍結若しくは廃止を検討すべきと考えるが、市長の見解をうかがいます。
2	子育て支援施策について		保育士不足に関しては、人材派遣に要する費用の一部を補助するということですが、それだけでは、既存の施設の経営の補助に過ぎません。子育て支援については、他の地方自治体も力を入れていくことを考えると、規制の見直しによる民間業者の参入を促進することも必要ではないかと考えますが、これに関して市長の見解をうかがいます。
3	学校教育について		東大和市内の公立小中学校の学力について一部の学校を除き東京都の平均解答率より低い状況である。これをどう考え、どの様に学力の向上を目指すのか、また、「学力向上協力校を指定」とあるが、ほぼ全校が対象になるのではないかなど、具体的な施策に対して市長の見解をうかがいます。
4	福祉政策について		(仮称)総合福祉センターに関しては、民設民営と決まった。市民が気軽に利用できるようにし、名ばかりの総合福祉センターにならないよう、市が積極的に指導監督すべきと考えるが、市長の見解をうかがいます。
5	廃棄物の減量について		① 家庭ごみの有料化に伴い、収集方式や時間が変更になり、混乱している市民も多いと聞く。市民に対し有料化という大きな負担を強いているのであるから、行政サービスの低下することがあってはならない。今後の対応についての市長の見解をうかがいます。 ② ごみ減量は、市民の努力も必要ではあるが、すぐに捨てられる容器包装を生産・流通している業者にも協力してもらう必要がある。これに関しては地方自治体が積極的に声を上げていかなければならない。また、市内でペットボトルや容器包装プラスチックを回収している小売店舗などの情報を収集し、わかりやすく市民に知らせるなどの施策とともに全体としての取り組みを期待するが、この件に関して市長の見解をうかがいます。
6	健康づくりの施策について		東大和市民の健康づくりの施策に関しては、東大和市医師会や東大和歯科医師会などの協力が謳われております。現在市では、小平市にある公立昭和病院の運営のため、相応の負担をしております。しかし、医療圏で考えた場合、本来は立川の医療圏に分類されると考えます。これらを総合的に考えると、公立昭和病院組合から脱退し、本来協力を要請すべきところに予算を配分すべきと考えますが、この件に関し市長の見解をうかがいます。
7	図書館事業について		図書館事業に関しては、他市との連携が謳われて

			<p>おりますが、それよりもまず、東大和市内の図書館の開館日や開館時間の拡大のために施策、および、ほとんど整備されていない学習スペースの確保に力をいれるべきだと考えますが、この件に関し市長の見解をうかがいます。</p> <p>8 生活保護について 本来のセーフティーネットである生活保護制度を守るためにも、不正受給などがあってはならないと考えます。これらの対策について市長の見解をうかがいます。</p> <p>9 都市農業の振興について 農産物直売マップを更新の予定であるとのことですが、これまでとどのように違い、大手スーパーなどに対抗できるような具体的な施策について市長の見解をうかがいます。</p> <p>10 観光事業の推進について 毎年多くの人出がある「うまかんべえ〜祭り」ですが、当初は「これぞ東大和」と呼ばれるようなグルメの開発が目的であったはずですが、これらについて現在の状況と今後の予定について市長の見解をうかがいます。</p> <p>11 都市マスタープランについて 桜が丘にある、広大な都有地や国有地について、現在のままでは、どのような建物を建てられ、土地利用されるかは、それぞれ都や国の自由であり、東大和市の管轄外であります。これらを防止するため、都市マスタープランを示していき、東大和市としての方針を都や国に対し積極的に示していくことが重要と考えますが、この件に関し市長の見解をうかがいます。</p> <p>12 防災について 従来の避難所や備蓄倉庫に加え、高層マンションを始めとする中・大規模住宅に関して、独自に備蓄倉庫やマンホールトイレなどの整備をすることによって、既存の避難所への集中による混乱を防ぐことができるかと考えるが、この件に関し市長の見解をうかがいます。</p> <p>13 平和事業について 国内でも有数の戦災建造物である旧日立航空機株式会社変電所の保存および活用について、国際的な連携も含め恒久平和実現のためどのような施策を行っていくのか市長の見解をうかがいます。</p>
7. 無所属 (和地 仁美)	1	教育内容の充実について	<p>重要施策では、学習支援員の配置、学力向上協力校へのティームティーチャーの配置や施設整備などの施策が述べられていた。主な施策の「豊かな人間性と文化をはぐくむまちづくり」の学校教育の充実の中では「重要施策で説明した教育内容の充実」と述べられたが、重要施策で述べられたのは、教育環境の充実であると考え。教育内容の充実とはどのようなことだと考えているか。</p>
	2	観光事業の推進について	<p>観光施策と関連性のある他の事業との連携が観光事業の推進には欠かせないと思う。</p> <p>① 「観光ボランティア」について</p>

	3	市民協働について	<p>ア 今までの活動の実績は</p> <p>イ 「(仮称)ここがふるさと・東大和市の魅力 発見・発信し隊事業」との連携はあるのか。</p> <p>② 郷土博物館のプラネタリウムや農産物のPRをする直売マップと「観光マップ」などの連携は考えていないのか。</p> <p>「人と自然が調和した生活文化都市 東大和」の実現のため、市民の皆様と行政の協働による行政運営の推進に努めるとの発言があった。</p> <p>重要施策では廃棄物の減量について「皆様のご理解とご協力」とし、主な施策の「廃棄物の減量とリサイクルの推進」では「協働で取り組む」とした。</p> <p>市では「協働」と「協力」をどのように捉えているのか。</p>
	4	総論として	<p>施政方針の冒頭で「4年間の実績を踏まえ」と述べられた。</p> <p>組織はトップによって変わる。施政方針の最後で、市役所について触れられていたが、尾崎市長になったことで、組織的に変化したこと、組織力、職員の能力、仕事内容、市民への対応など、どのような向上、改善があったと考えるか。</p>
8. 無所属 (実川 圭子)	1	重要施策7点の選択理由について	<p>平成27年度の重要施策を7点取り上げているが、(仮称)総合福祉センターの整備や新学校給食センターの建設などは計画にのっとり、当然進めなければならない事業です。あえて重要施策として掲げたことについて、市長はどのような思いを持って、まちづくりを進めようとしているのでしょうか。また、市民にとってどのような利益になると考えて重要施策を位置付けたのか伺います。</p>
	2	青少年の健全育成について	<p>① 「青少年がトラブルに巻き込まれ、被害者にも加害者にもなるような事件が後を絶たない」とあるが、市内での状況はいかがか。</p> <p>② 「青少年が健やかに育つ環境づくり」とはどのようなものか。他市では、若者の文化に合わせ、ダンスや音楽ができるスタジオ、バスケットゴールやスケートボードなど気兼ねなく運動ができる場所、自習室などを整備しているが、当市の状況を伺います。</p>
	3	市民文化の振興について	<p>① 文化施設の整備として、(仮称)東大和郷土美術園の建物の整備計画について伺います。</p> <p>② 吉岡堅二画伯の作品や旧日立航空機株式会社変電所を内外にアピールするために絵葉書や写真集などの印刷物を作成する考えはありますか。</p>
	4	都市農業の振興について	<p>農業および農地の多面的な役割を支援する施策はありますか。農地を守るには農業者のみならず、農業に関心がある市民を巻き込んでいく必要があると考えますがいかがでしょうか。</p>